

系統用蓄電池の月報 2026 年 10 月

サイエンスエックス株式会社 発行 2026 年 11 月 1 日

電気の値段は、使う時間によって変わります。その差を使って働くのが「系統用蓄電池」（送電網につないで、電気をためて出し入れする大きな電池）です。この月報は、公表されている数字と当社の記録から、今月の動きを図でお伝えします。

1. 今月の動き 3 つ

卸電気とは、電力会社や小売会社が売り買いする電気のことです。その値段は、日本卸電力取引所（JEPX）の「スポット市場」（前日に翌日の電気を売り買いする市場）で決まります。

- ・ 10 月の卸電気の平均価格は、東京が 27.02 円/kWh（前年同月 13.06 円/kWh）、九州が 15.07 円/kWh（前年同月 10.74 円/kWh）でした。
- ・ 1 日のなかの平均の最安と最高は、東京が 12 時 00 分台 19.03 円と 16 時 30 分台 37.11 円、九州が 12 時 00 分台 4.94 円と 17 時 30 分台 24.74 円でした。
- ・ 調整力市場の一次調整力（2026 年 9 月・速報値）では、落札量のうち蓄電池の割合が 27.9%でした。

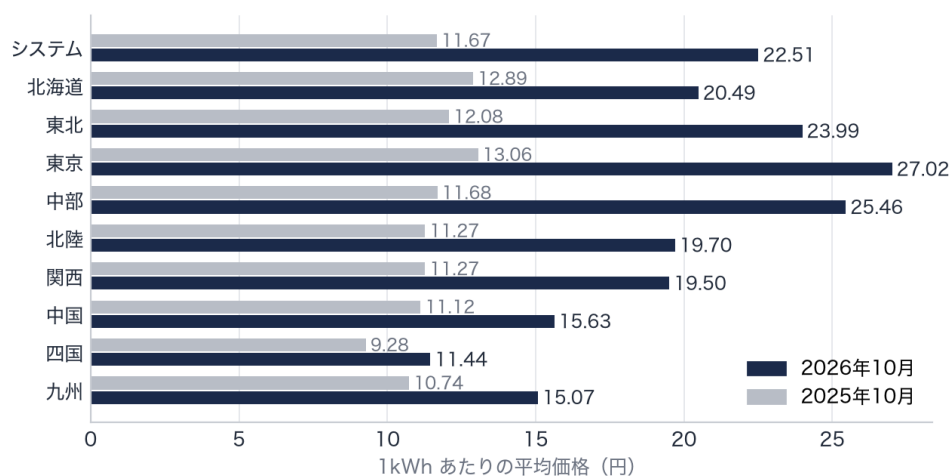


図1 卸電気の平均価格（円/kWh）。紺が 2026 年 10 月、灰が前年同月

出典: 日本卸電力取引所（JEPX）公表のスポット市場の取引結果。30 分ごとの価格の単純平均。当社集計。

2. 電気の値段は、1日のなかでこう動く

電気の値段は30分ごとに変わります。図は、月の同じ時刻の価格を平均した1日の形です。安い時間に電気をため、高い時間に出せば、その差額が蓄電池の収入になります。

東京はいちばん安い12時00分台が19.03円、いちばん高い16時30分台が37.11円です。九州は12時00分台が4.94円、17時30分台が24.74円です。

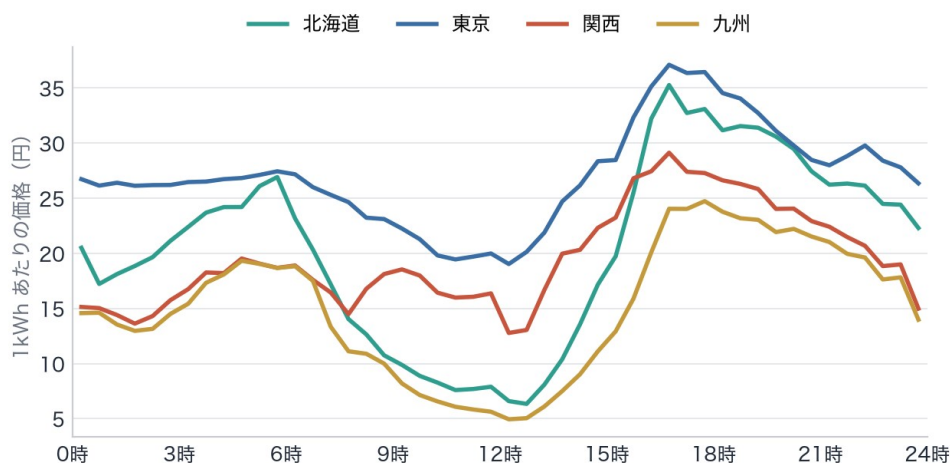


図2 1日の価格の山と谷 (2026年10月の平均・円/kWh)

出典: JEPX スポット市場。当社集計。

3. 高低差は、毎日ある

1日のなかの最高値と最安値の差を、日ごとに並べました。差が大きい日ほど、蓄電池が値差で稼げる余地が大きくなります。

日内の最高と最安の差の月平均は、システムが25.16円、北海道が36.50円、東京が21.87円、関西が24.05円、九州が23.15円でした。

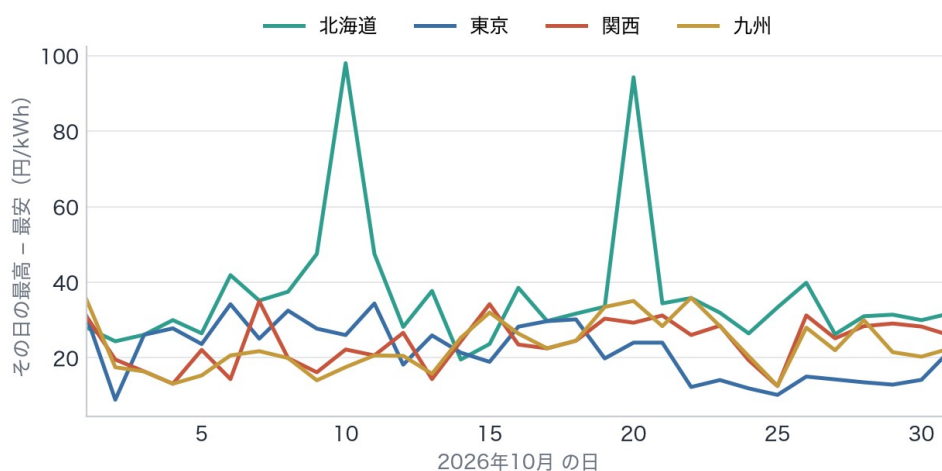


図3 日ごとの価格の高低差 (その日の最高値 - 最安値・円/kWh)

出典: JEPX スポット市場。当社集計。

4. 蓄電池は、どのくらい稼ぐのか（試算）

出力 2MW・容量 8MWh の蓄電所 1 か所の試算です。電気の売買は、その日いちばん安い 4 時間分で充電し、いちばん高い 4 時間分で放電する想定です。もう一つの稼ぎ口が調整力市場（電気の余りや不足を直す「力」を売り買いする市場）で、ここでは三次調整力②に 2MW を出し続けた場合を示します。どちらも目安の試算で、実際の収益を示すものでも保証するものでもありません（前提は最終ページ）。金の棒の調整力市場は 9 月分（9 月 1 日～29 日）で、紺の棒の 10 月 とは月が違います。

蓄電所 1 か所の試算では、電気の売買の値差（10 月・31 日分）が九州 368 万円・東京 278 万円、三次調整力②（9 月・29 日分）が九州 493 万円・東京 131 万円です。

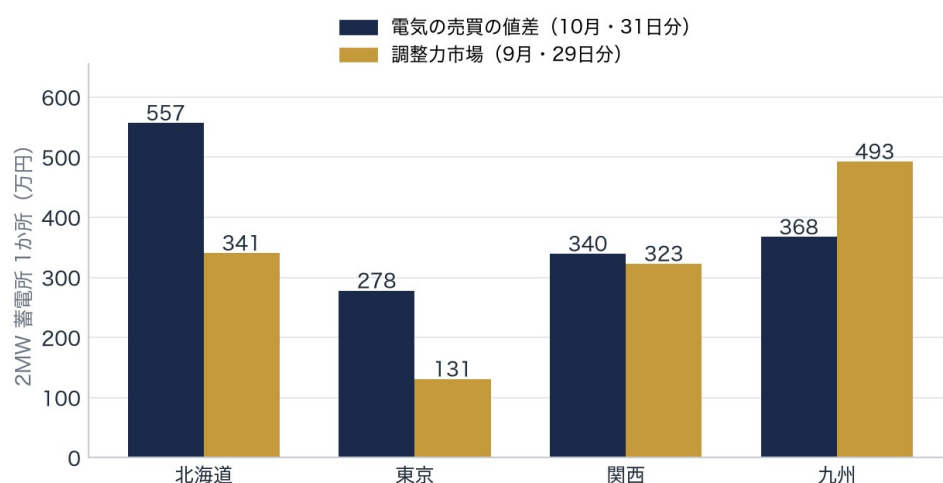


図4 2MW・8MWh の蓄電所 1 か所の収益の目安（試算・万円）

出典: JEPX スポット市場、EPRX 速報値をもとにした当社の試算。前提は最終ページ。

5. 調整力市場でも、蓄電池が使われている

調整力市場の商品は、番号が小さいほど素早い反応を求められます。図は、落札された量のうち蓄電池が占める割合です。2026年10月分の公表値はまだ集計に入っていないため、全商品がそろそろ直近の2026年9月分（速報値）で示します。

9月速報値の落札量のうち蓄電池の割合は、一次調整力 27.9%、二次調整力① 1.8%、二次調整力② 1.0%、三次調整力① 0.7%、三次調整力② 0.8%、複合商品 10.4%でした。

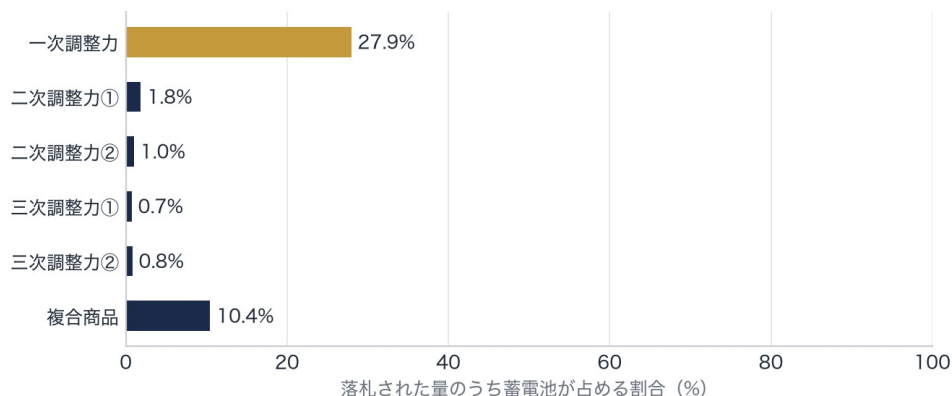


図5 調整力市場で蓄電池が占める割合 (%)

出典: 電力需給調整力取引所 (EPRX) 公表の取引結果 (速報値) の電源種別別。当社集計。

6. 蓄電所の案件は、どこに増えているか

当社の棚 DealRoom2 (買い手向けに蓄電所の案件を載せるサイト) に、今月新しく載せた案件を、送配電会社の管区別に数えました。市場全体の件数ではなく、当社が扱った案件の数字です。権利渡しは土地と電力の権利を渡す売り方、完成渡しは設備ができた状態で渡す売り方です。

当社の棚の2026年10月の新着は77件・309.1 MWで、管区別では東京33件・99.8 MW、東北8件・73.4 MW、中部11件・69.9 MW、北海道1件・30.0 MW、九州13件・19.9 MW、中国7件・8.0 MW、関西4件・8.0 MWでした。

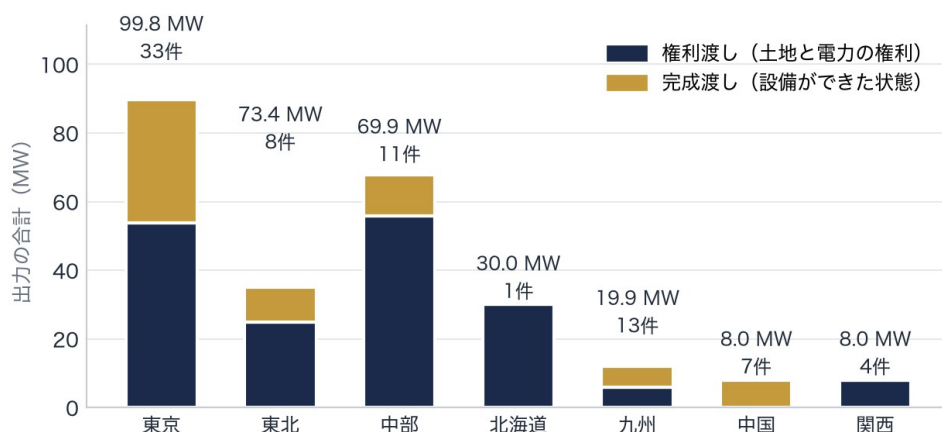


図6 2026年10月に当社の棚へ載せた案件の出力 (MW)

出典: 当社の DealRoom2 の記録 (案件の所在地は管区までで、価格・当事者は載せない)。

7. 系統につながるのに、何か月・いくらかかるか

接続検討とは、送配電会社に「この場所につなげるか、工事にいくらかかるか」を調べてもらう手続きです。負担金は、つなぐ工事のうち申込み側が負担する費用です。当社が受け取った回答書を管区別に集計しました。5件未満の管区は載せていません。

接続検討の2026年10月19日時点の244地点の集計で、工期の中央値は東京8.0か月、東北42.0か月、負担金の中央値は東京3.16百万円、東北127.60百万円です。

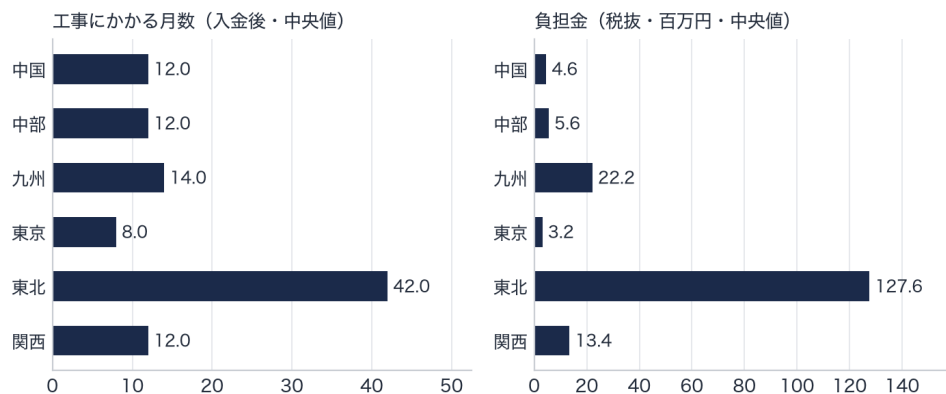


図7 接続検討の回答の管区別の中央値（左：工にかかる月数、右：負担金・税抜）

出典：当社が受け取った一般送配電事業者の接続検討回答書（2026年10月19日時点）の集計。

8. 土地の相談は、どの県から来ているか

当社が把握している蓄電所用地（DealRoom2 に載せた分と、載せていない相談の分）を県別に数えました。件数だけで、所在地・価格・名前は載せません。

当社が把握している用地は合計339件で、県別では茨城県33件、埼玉県25件、静岡県24件、岐阜県21件、栃木県20件です。

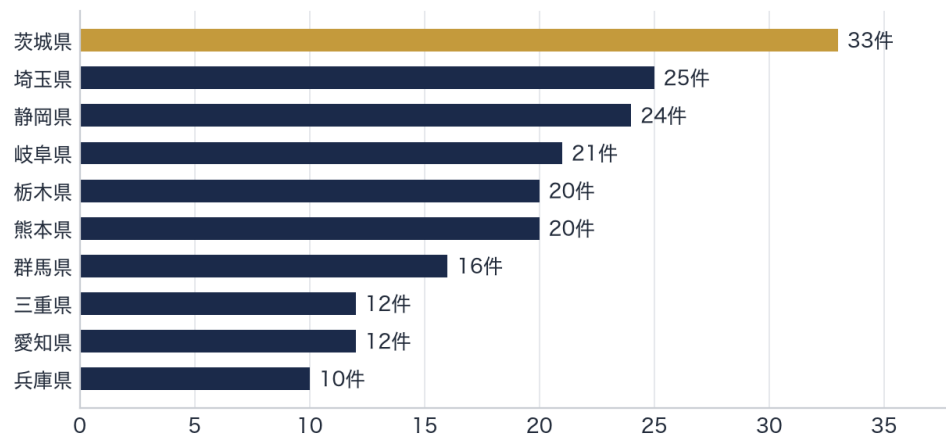


図8 用地の県別の件数（上位10県）

出典：当社の記録。

9. 試算の前提と用語

- ・ 試算は、公表された価格と下の前提から当社が計算した目安です。実際の収益を示すものでも、保証するものでもありません。
- ・ 蓄電所: 出力 2MW・容量 8MWh・往復効率 85%・放電深度 95%。充放電とも最大 2MW。
- ・ 電気の売買: その日の 30 分コマのうち、価格の安い 8 コマで充電、高い 8 コマで放電。充電量は容量×放電深度、放電量はその 85%。コマの順序や充電残量の制約、市場に自分の売買が及ぼす影響、手数料・税・系統の費用は見えていません。
- ・ 調整力市場: 三次調整力②に毎コマ 2MW を出し、そのコマの電源のあるエリアの平均落札価格（円/kW・30 分）で落札できた場合の合計。落札のないコマは 0。実際は競争で落札できないコマがあり、調整力を出すと売買に使えない時間があるため、実際より多めに出る前提です。
- ・ 対象の月: 電気の売買は 10 月（31 日分）、調整力市場は 9 月（9 月 1 日～29 日）。調整力市場の 2026 年 10 月分の公表値が集計に入るまで、月が異なります。
- ・ 数字は出典の表示のまま載せ、複数の月を合計したり、年に換算したりはしていません。容量市場などの別の収入は含みません。
- ・ 平均価格は 30 分コマの単純平均（取引量による重みなし）。日中は 8～16 時、夕方は 16～20 時のコマ。

出典: 日本卸電力取引所 JEPX スポット市場の取引結果／電力需給調整力取引所 EPRX の取引結果（速報値）／当社が受け取った接続検討回答書の集計／当社 DealRoom2 の記録。

用語: 系統＝電力会社の送電網。系統連系＝送電網につながること。MW＝電力の大きさ（1MW＝1,000kW）。MWh＝ためられる電気の量。円/kWh＝電気 1kWh あたりの値段。

サイエンスエックス株式会社 <https://www.scix.co.jp> お問い合わせ s@scix.co.jp

ニュースレター「系統用蓄電池の一次データ」:

<https://www.linkedin.com/newsletters/7521830530569445376/>

図表や数値は、出典を明記すればお使いいただけます（引用ガイド <https://www.scix.co.jp/press>）。